

C—5 壱岐地方における住要求について

福岡学芸大(田川分校) ○秋山 晴子
東筑紫短大 有賀 明子

1. 住生活内において「私生活」の確立が重要であることはもちろんである。

しかしながら、この面での近代化は実際に人々の住要求としてはっきりと、全面的に打ちだされているかどうかは疑問と言わざるを得ない。その原因がどこにあるのか、一方では経済的要因、その他諸々の外的な要因、他方では新しい変化に抵抗し、古いものに執着しようとする内的な要因等がからみ合っていると考えられる。

とはいえ「私生活」確立への住要求は戦後の社会的、経済的条件の発展の中で、次第に知識階層の中でまず発展し、現在では程度の差こそあれ、他の階層にも浸透しつつあると考える。

今回は壱岐地方における人々の住居観を住要求を通してみようとする。

2. (a) 対象—長崎県壱岐郡より無作為に抽出した200世帯。

(b) 調査期間—昭和40年7月下旬～8月上旬。

(c) 方法—面接調査による。

3. 現在整理組中已將老式全批光本對齊。